

1987年、1997年、2007年、2017年に  
信州大学医学部附属病院で分娩された方またはご家族の方へ  
保健学科学生の卒業研究にご協力をお願いいたします。

2018年5月31日

「過去の助産録からみる周産期医療統計の疫学的検討」に関する卒業研究を実施しております。信州大学医学部保健学科倫理審査会の審査による保健学科長の承認を得て、保健学科4年生が卒業研究のため、教員の指導の下で調査を行っています。

既存の診療記録(助産録情報)を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は卒業論文の作成に使用しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、下記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、下記「研究不参加の申し出締切日」以降、すでに研究成果が卒業論文として完成している場合や、情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。

研究課題名	過去の助産録からみる周産期医療統計の疫学的検討
指導教員名	金井 誠(信州大学医学部保健学科・教授)
研究実施期間	保健学科倫理審査会承認日～2019年1月31日
研究の意義、目的	過去の助産録から様々な周産期情報を検討し、高年妊娠の妊娠・分娩・児への影響、早産のリスク因子、遷延分娩のリスク因子と分娩への影響、低出生体重児の出生要因と分娩への影響を明らかにすることを目的とした研究で、今後の妊娠・分娩における周産期合併症の予防および適切な妊婦指導や分娩管理に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	1987年、1997年、2007年、2017年に当院で分娩された方
利用するカルテ情報／検体	母体年齢、経産・経妊回数、母体分娩時身長、母体分娩時体重、出生週数、分娩所要時間、分娩時出血量、児出生時体重、児出生時身長、胎盤重量、帝王切開の有無、帝王切開の適応、吸引分娩の有無、陣痛促進剤使用の有無、妊娠高血圧症候群の重症度、その他の母体合併症や産科合併症、児の状態(光線療法の有無、合併症等)。
研究方法	過去の助産録から上記の内容を収集し、高年妊娠の妊娠・分娩・児への影響、早産のリスク因子、遷延分娩のリスク因子と分娩への影響、低出生体重児の出生要因と分娩への影響について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
研究不参加の申し出締切日	2018年9月30日